

早稲田大学 vs 明治大学

5月3日(土・祝)
13:50K.O.
味スタ西

「難しい試合だった。ここ2年、首位に立ったことがない中で、念願の首位に立つチャンスだったのに、それを逃してしまった」(古賀監督)

4節で首位・専大に勝点で並んだ早大だったが、前節の桐蔭大戦は0-0のスコアレスドロー。

「結果を求めて、一人ひとり戦ってはいた」(古賀監督)

ゴールに早く迫っていくという早らしいサッカーはできていたが、そこで決めきれなかった。

「個の力でゴールを奪うことができず、ある意味互角の戦いに持ち込まれてしまった現実を、個人としてもチームとしても受け止めたい。試合を決める個の力をつけるべく、トレーニングしていきたい。失点してもおかしくない場面も多かった」(古賀監督)

これで首位・専大との勝点は2ポイント離れてしまったが、まだ前期リーグ。ここからしっかりと追走していきたい。

「明大、慶大、流経大と3連戦になり、ここで今シーズンが決まってくると思う」(古賀監督)

大事な3連戦だ。

なかなか波に乗り切れない明大。前節の順大戦も引き分けに終わったが、

「格上の順大に対して、無失点で抑えて勝点1を取れたのは一つの成果だと思う」

と、栗田大輔監督はまず評価を口にした。安定した守備を目指しているだけに、守備陣が無失点に抑えた手応えからだろう。続けて注文も出た。

「中盤のルーズボールを拾い切れていないことと、攻撃に入ったときにまだまだ個人の能力に頼っているのもっと連動して点を奪いにいきたい」(栗田監督)

守備の安定を持続できるかどうかポイントだ。

昨年の対戦：前期/早大2-1明大、後期/早大1-1明大

早大		明大	
20. 平澤	14. 堀田	11. 藤本	2. 室屋
3. 田中進	11. 山内	9. 矢島	3. 山越
	23. 園田		7. 差波
1. 松澤			1. 三浦
	6. 近藤洋		17. 小谷
2. 奥山	15. 上形	18. 苅部	13. 小池
22. 新井	7. 近藤貴	8. 石原	6. 高橋

慶應義塾大学 vs 東京国際大学

5月3日(土・祝)
13:50K.O.
BMWス

今年の慶大の強さは本物だ。4節の専大戦は勝利こそ逃したもののドロー。そして、前節の筑波大戦は1-0と勝点3をゲット。攻め込まれる時間帯は長かったが、「相手がギャップで受けて、早いテンポで回してくるチームだった。それに対して縦パスを入れさせないこと、入っても自由にやらせないことを90分間できた。よくやったと思う」(須田芳正監督)

守備陣が集中して守りきった。一方で攻撃面だが、「ボールを奪ったあと、効果的なカウンターができなかった。ポジションを修正したい」(須田監督)

慶大の快進撃は続くのか!?

5試合で勝点2と苦しんでいる東国大だが、決して内容は悪くないだけに、これを勝点3に結びつけていきたいところ。

「勝利を逃してしまった。しかし、自分たちのやろうとしているサッカーはできている。選手たちには『ここが試練、ここを越えないと1部リーグで戦えない』と話している」(前田秀樹監督)

前節の国士大戦も終始試合を優位に進め、後半15分には先制点を奪うことにも成功。しかし、41分に失点してしまい、勝点2を失ってしまった。

「ベースは守備なので、相手に崩されないということはよかった。また、サイドアタッカーが徐々に調子がよくなってきた。好材料だと思う」(前田監督)

一方で、リードしたときにいかに戦うか。

「リードしていると勝ちたいという意識がより強くなり、冷静さを失っている部分がある」(前田監督)

互角に戦える力は十分にあるのだから、自信を持って戦い抜きたい。

警告3回：溝淵雄志(慶大)

昨年のリーグ戦での対戦はなし

慶大		東国大	
4. 保田	11. 増田	22. 菅原	29. 新聞
5. 並木	26. 加瀬澤		15. 舛田
	25. 小坂	9. 福島	10. 若井
1. 峯			21. 今野
	29. 浅間	4. 加藤	
6. 望月	15. 宮地	8. 上船	5. 鈴木
3. 溝淵	8. 山浦	7. 小玉	3. 新地

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想

JR東日本カップ 2014 第88回 関東大学サッカーリーグ戦



OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.26-NO.5 Division1



編集：加茂郁実 発行：(一財)関東大学サッカー連盟 協力：関東大学サッカーサポーターズクラブ

駒大が前期初勝利!

ゴールデンウィークに突入し、ますます熾烈な戦いが繰り広げられている「JR東日本カップ2014 第88回関東大学サッカーリーグ戦」。前節の熱い戦いを振り返ってみよう。

首位を走る専大は中大との対戦し、前半に2点を奪われる苦しい展開。後半一気に4点を奪って逆転に成功し、勝点3を積み重ねたものの、試合内容としては反省点も多く、ここから正念場といえるだろう。中大は2点をリードも敗戦となり、5試合を終えて勝点1と苦しんでいる。

早大 vs 桐蔭大は、早大がペースを握りながらもゴールを奪うことができずに0-0のスコアレスドロー。早大は一步後退。ここまで4連敗だった桐蔭大は、ようやく勝点1をゲットした。

なかなか波に乗り切れない明大と負けなしの順大の一戦は、明大がボールを保持しながら順大もカウンターで対抗。お互いにシュートを決めきれず、0-0の引き分けに終わった。

苦しい戦いが続いている筑波大と好調の慶大の対戦は、前半19分に慶大が先制点をゲット。筑波大はボールを保持しているものの効果的な攻撃ができずノーゴールに終わり、慶大が1-0で筑波大を下した。筑波大は未勝利と苦しんでいる。

上位に進出するためには勝利を積み重ねていきたい流経大と、下位に低迷している駒大の一戦は、駒大が3-0で流経大を下して初勝利をゲット。流

得点ランキング

前澤 甲気(専大)	5点
近藤 貴司(早大)	4点
以下3得点5名	

アシストランキング

北出 雄星(専大)	4アシスト
仲川 輝人(専大)	3アシスト
望月 大知(慶大)	3アシスト
以下2アシスト5名	

経大は立て直しが必要だ。
国士大と東国大のゲームは、後半15分に東国大が先制点を奪ったが、41分に国士大が同点に追いつき1-1のドロー。国士大は粘り強さを発揮。東国大はまたも勝ち切れなかった。
優勝争いは専大が一步リードしているが、2ポイント差で順大、早大、慶大が続いている。それ以下のチームも僅差で続いており、緊迫した争いとなっている。
一方、前節は駒大がリーグ戦初勝利を挙げたが、東国大、筑波大、中大、桐蔭大が未勝利。ハードスケジュールのゴールデンウィークをいかに乗り切るのか。各チームの戦いに、ぜひ注目を!

JR東日本カップ2014 [第88回] 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

順位	チーム名	専大	順大	早大	慶大	国士大	流経大	明大	駒大	東国大	筑波大	中大	桐蔭大	試合数	勝	分	負	得点	失点	得失点差	
1	専大		5月5日	6月15日	2△2	5月10日	5月2日	5月24日	6○0	2○0	5月17日	4○2	5○2	5	4	1	0	19	6	13	13
2	順大	フクアリ		0△0	5月10日	5月2日	3○1	0△0	5月17日	5月24日	2○0	6月15日	4○1	5	3	2	0	9	2	7	11
3	早大	味フィ西	0△0		5月6日	5月18日	5月10日	5月3日	3○1	2○0	5月25日	2○1	0△0	5	3	2	0	7	2	5	11
4	慶大	2△2	フクアリ	味フィ西		0△0	5月18日	2○0	5月24日	5月3日	1○0	2○1	6月15日	5	3	2	0	7	3	4	11
5	国士大	味フィ西	江戸陸	味スタ西	0△0		5月5日	6月14日	2△2	1△1	3○0	5月24日	1○0	5	2	3	0	7	3	4	9
6	流経大	江戸陸	1●3	たつのこ	たつのこ	たつのこ		1○0	0●3	4○3	6月14日	1○0	5月24日	5	3	0	2	7	9	-2	9
7	明大	川口	0△0	味スタ西	0●2	味フィ西	0●1		2○0	5月6日	5月10日	5月18日	4○1	5	2	1	2	6	4	2	7
8	駒大	0●6	ゼットイー	1●3	たつのこ	2△2	3○0	0●2		6月15日	5月6日	5月2日	5月10日	5	1	1	3	6	13	-7	4
9	東国大	0●2	千葉東総	0●2	BMWス	1△1	3●4	味フィ西	古河		1△1	5月10日	5月17日	5	0	2	3	5	10	-5	2
10	筑波大	たつのこ	0●2	BMWス	0●1	0●3	味フィ西	味フィ西	駒沢陸上	1△1		0△0	5月2日	5	0	2	3	1	7	-6	2
11	中大	2●4	味フィ西	1●2	1●2	川口	0●1	味スタ西	三ツ沢陸上	フクアリ	0△0		5月5日	5	0	1	4	4	9	-5	1
12	桐蔭大	2●5	1●4	0△0	古河	0●1	たつのこ	1●4	保土ヶ谷	たつのこ	三ツ沢陸上	夢の島		5	0	1	4	4	14	-10	1

体育会学生のための

リクナビ就職エージェント

負けたら、立ち上がるだけだ。

部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」

リクナビ 体育会

RECRUIT

国士舘大学 vs 順天堂大学

5月2日(金)
11:30K.O.
江戸陸

なかなか波に乗り切れない国士大。前節の東国大戦は1-1の引き分けに終わり、勝点1しか上積みできなかった。

「引き分けるときは勝点を取れたと満足してしまいがちだが、内容的には合格点は出せない」（細田三三監督）

後半15分に先制点を奪われながら、41分に同点に追いついた粘りは評価できるが、シュート数は4本と決して納得のいくものではなかった。

「覇気がなかった。お互いにコミュニケーションが不足している。積極的に声をかけるプレーがなく、みんなが黙って相手を待って後手に回ってしまった。予測やコーチングの部分を少しずつ直したい」（細田監督）

思いきりのよさや、守備でも前に出ていく姿勢をもっと表現していかなければ、今後も苦しい戦いになってしまう。しっかりと修正したい。

前期リーグ負けなしの順大。前節の明大戦も勝ち切ることはできなかったが、0-0の引き分けで2位をキープした。

「無失点に抑えられたことは非常によかった」（吉村雅文監督）

5試合で2失点とリーグ最少失点タイ。守備の安定が

今年の順大を支えている。ただ、「1点が取れなかった」（吉村監督）という部分は今後の課題だ。

「劣勢であっても、点に結びつくような攻撃ができる力をつけなければいけない」（吉村監督）

特に、これまでに比べて前節は、攻撃に向かう思いきりのよさが少なかつただけに心配だ。

「うちはもともと点を取れないチーム。守備をしっかりとしながら、1点が取れる工夫をしたい」（吉村監督）

昨年の対戦：前期/国士大0-5順大、後期/国士大0-4順大

国士大		順大	
12. 藤寄	10. 進藤	23. 新里	3. 吉永
13. 端	16. 木下		5. 新井
	6. 海野		6. 長谷川涼
30. 大谷		20. 佐野	21. 大畑
	8. 松本	10. 長谷川竜	7. 内山
5. 仲島	11. 平松		4. 谷奥
7. 橋	17. 高見	22. 米田	13. 宮本

中央大学 vs 駒澤大学

5月2日(金)
11:30K.O.
三ツ沢陸上

首位の専大を相手に、前半は2-0のリードを奪った前節の中大。

「前半はしっかりと自分たちのペースでできていたので、そのイメージを崩さずにいけたらよかったのだが……」（中大・白須真介監督）

というように結果は後半に4失点し、逆転負けを喫してしまった。

「後半、ペースが落ちて走れなくなったのが明らかな原因。後半も前半のように走りながらサッカーができるようにしていかないといけない。前半の戦いをベースに、しっかりと戦っていきたい」（白須監督）

連戦でどうしても動きが落ちてしまうが、条件はどのチームも同じ。最後までしっかりと戦い抜きたい。

3年ぶりに1部に復帰した駒大だが、4節まで1分3敗と苦しい戦いが続いていた。しかし、前節の流経大戦は3-0の完勝勝利を収め、ようやく駒大らしい力強いサッカーを披露することができた。

「みんなでやろうという強い意志があった。徹底して外から攻める、前からプレスをしてゴール前にいくという、駒大のサッカーをやろうとしていた」（秋田浩一監督）

前半23分はまさしく得意の形での得点だっただけに、

ようやく浮上のキッカケをつかんだといえるだろう。ただ、1勝したことで安心するわけにはいかない。

「精度が低い。狙ったところにボールを落とすことができないし、シュートの精度がよければもっと得点のチャンスはあったのではないか」（秋田監督）

これを続けていくためにも、さらに集中したプレーが必要だろう。

「頑張るのがうちのサッカーなので、しっかりとやっていきたい」（秋田監督）

昨年のリーグ戦での対戦はなし

中大		駒大	
22. 新藤	7. 山田	7. 平野	13. 大木
3. 小出	4. 渋谷		5. 伊藤
	20. 橋本		10. 板倉
21. 置田		9. 小牟田	1. 秋山
	25. 三島	15. 須貝	
5. 岡崎	37. 矢島	17. 立石	4. 平尾
12. 渡辺	10. 砂川	19. 吉岡	16. 柳川

専修大学 vs 流通経済大学

5月2日(金)
13:50K.O.
江戸陸

前半から積極的に攻撃を仕掛けながらシュートに持ち込めず、逆に中大のカウンターの餌食になり2失点してしまった専大。勝利は厳しい状況に思われたが、後半に4点を奪って逆転した底力は称賛に値する。

「中大は相性が悪い相手なので、勝ててよかった」と、源平貴久監督もほっとした表情を浮かべた。ただし、試合内容に関していえば、気持ちを引き締めなければいけないのも事実。

「選抜など合宿の疲労、授業などの疲れもあったのではないか」（源平監督）

連戦でコンディションに関しては非常に難しくなるが、「コンディションのいい選手を起用して勝つ」（源平監督）

どういった選手を起用していくのかに注目が集まる。

開幕から4試合で3勝1敗の流経大だったが、前節は下位に沈む駒大に0-3の完封負け。

「完敗」と、中野雄二監督も言葉少なだった。

「相手が素晴らしく、打つ手がなかった」（中野監督）

駒大の徹底したクロスからの攻撃に手を焼き、最後まで思うようなプレーができなかった。

「試合開始からずっと攻め込まれていた。球際、運動

量、強さ、あきらめない姿勢、すべてにおいて駒大が上だった」（中野監督）

なかなか勝ちきれず、苦しい状況の駒大は迫力を前面に出してきたが、それに対してやや受け身になってしまった。前半はシュート0本で2失点。後半も1失点したが、後半から入った江坂任（4年）の効果もあって試合の流れはよくなり、12本のシュートを放っただけに、これを今節に結びつけたい。

警告3回：富田湧也（流経大）

昨年の対戦：前期/専大2-3流経大、後期/専大4-0流経大

専大		流経大	
5. 小口	11. 前澤	7. 森保	
6. 河津		13. 山岸	2. 湯澤
	36. 私市		15. 塚川
1. 福島	8. 星野	9. 山川	5. 川崎
	7. 北出		25. 古波津
3. 萩間		10. 野口	4. 鈴木
2. 北爪	10. 仲川	6. 富田	

筑波大学vs桐蔭横浜大学

5月2日(金)
13:50K.O.
三ツ沢陸上

「結果が出ないので、チームをうまく回せない」とは、筑波大の中山雅雄監督の弁だ。

前節の慶大戦も0-1の敗戦。ここまで5試合で1得点と、得点力不足は深刻だ。ただ、内容に目を移すとボールは保持しており、あと一歩というところまできているのだが……。

「点を取れないがシュートを打っていないわけではなく、ゴール前にもいけている。チャンスがないわけではない。あと一押しというか、決めるところを決められるかだと思う」（中山監督）

決まるようになれば一気に好転する雰囲気はあるだけに、ここが踏ん張りどころだ。

「普段の練習から一つひとつのシュートに集中して質を高めていきたい。相手よりも自分たちが攻めてフィニッシュまでいき、点を取る。セットプレーからの失点の部分も含めて、クオリティーを上げていきたい」（中山監督）

4連敗と苦しいスタートになってしまった桐蔭大だが、前節の早大戦は0-0のドロー。勝利は逃したものの、

「今季初めて失点0で終われたので、無失点ということは非常に自信になると思う」（八城修監督）

4試合で14失点と、ここまで守備が安定しなかっただけに、早大戦のような守備を今後も続けていきたい。

一方で、「少ないチャンスを決められるかどうかというところが改善点。また、少ないチャンスではなく、多くのチャンスを作っていくことも大事だと思う」（八城監督）

攻撃時には思い切って人数をかけることも必要になってくるだろう。

未勝利同士の対戦。初勝利を挙げるのは!?

昨年の対戦：前期/筑波大1-0桐蔭大、後期/筑波大4-1桐蔭大

筑波大		桐蔭大	
8. 早川	10. 中野嘉	8. 山崎	11. 石堂
7. 車屋	29. 中野誠	38. 大村	4. 古澤
	6. 片岡		12. 金子
1. 岩脇			21. 田中雄
	31. 三宅		6. 福島
5. 西村	28. 北川	30. 鈴木	33. 田中憧
34. 浅岡	11. 高柳	7. 山根	18. 佐々木

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想